

## Brown Bag Seminar

No. 059

オンライン  
録画期間限定公開  
(Zoom)  
登録はこちら2022  
7.27  
12:10  
12:50  
(水)

- |             |        |
|-------------|--------|
| 12:10-12:15 | ◆ 演者紹介 |
| 12:15-12:40 | ◆ プレゼン |
| 12:40-12:50 | ◆ 質疑応答 |

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_p8GYTaRvQb-RkfoI5B-xlw](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_p8GYTaRvQb-RkfoI5B-xlw)

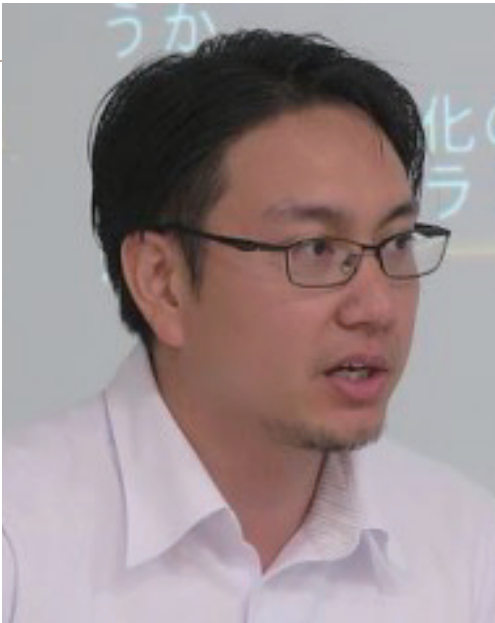
【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

アクセプタンス&コミットメント・セラピー(アクト)と  
京都学派：森昭と人格の四つの層

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

## 瀬平劉 アントン 准教授

基幹教育院 人文社会科学部門



この発表では、アクセプタンス&コミットメント・セラピー(アクト)と東洋哲学、特に日本の哲学者である森昭先生(1915年～1976年)とのつながりを検証します。森先生が提唱された人間形成の哲学に焦点を当て、それがアクトに内在する哲学とどのように関連しているかを模索します。森先生の人間存在の層モデル(生体層、意識層、自覚層)を考察し、それがアクトの人間学(文脈主義、言語論)、倫理学(自己プロセス、価値、セラピー関係)、人間生成論(文脈主義的発達)とどのように結びついているかを詳細に論じます。また、センタードネス(バランスを保った状態)が内的経験と外的経験の関係を調和している支点モデルを通じて結びついていることについても議論します。

瀬平劉アントン先生はフィリピンご出身ですが、日本に帰化され、現在、臨床教育学の研究をされています。2005年～2011年、フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学で哲学を教えながら、比較哲学、実存主義、京都学派哲学の研究に挑みました。2011年来日、京都の国際日本文化研究センターで、仏教哲学者の末木文美士先生に師事し、和辻哲郎についての研究から博士号を取得しました。『Watsuji Tetsuro's Global Ethics of Emptiness』(2017)を出版、『Sueki, Religion and Ethics At Odds』(2016)を翻訳。その後、教育学の研究に移り、京都大学の臨床教育学講座の教員と共同研究を行いました。現在の研究は、京都学派哲学が教育学に与える影響、マインドフルネスと教育、教育へのナラティブ・アプローチなどです。

Q-AOS